

告辞

日の浦山の緑が日増しに色濃くなり、瀬野川のせせらぎや小鳥のさえずりに春の訪れを感じる今日の佳日。

令和元年度海田町立海田南小学校卒業証書授与式が挙行され、98名の皆様が小学校六年の全課程を修了し、卒業証書を手になされたことを心からお慶び申し上げます。

日夜温かい愛情を注がれ、今日のこの日をお迎えになられた保護者の皆様のお喜びは、ひとしおかと存じます。

海田町においては、「夢を持ち、夢を語ることでできる児童生徒の育成」をめざし、これからの社会のなかで生きていくために必要な力を育む教育活動を進めてまいりました。卒業生の皆さんはその期待に応え、友達と力を合わせながら最高学年としてしっかり頑張り心も体もたくましく成長されたことを大変嬉しく思います。

さて、本年度は、平成の時代が終わり、新しい時代の幕開けとして、新しい元号「令和」が定められました。令和は、英訳すると「Beautiful Harmony」（美しい調和）とされており、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められております。この変化の激しい時代において、人々が、人と人とのつながりを大切にして平和に暮らすことが大事であるといえます。今年度、日本で開催されたラグビーワールドカップで話題となり、流行語大賞となった言葉がありました。それは、「ONE TEAM」です。日本代表の選手たちが、この大会に向けて大切にしてきた言葉です。「出身地、文化、様々な生まれや背景が違っても目標に向けて一致団結し、違いを乗り越えて一つになる」という思いが込められています。選手は、努力を積み重ねる中、互いを認め、全員の心を一つにして、一戦一戦に臨んだのです。この選手達の誇らしく戦う姿は、多くの人々の心に響きました。

卒業生の皆さん、夢をもち、海田のまちを愛し、人を、命を大切にする人になってください。これからの時代を支える人間として立派に成長されることを心から願っております。

最後になりましたが、これまで陰になり日向になり教育活動を支え、子どもたちを温かく御指導して下さった重森栄理校長先生をはじめとする海田南小学校の教職員の皆様、日々子どもたちの成長を願い、御支援を賜りました地域の皆様に心から感謝申し上げますとともに、改めて本日巣立ちの日を迎えた卒業生の皆さんの今後の御活躍と御発展を祈念し、教育委員会告辞といたします。

令和二年三月十九日

海田町教育委員会